

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評  
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

女子78kg超級

女子78kg超級は石山が体格差のあるライバルに大内刈の技の冴えを見せて2年ぶり二度目の優勝。”

昨年に続き準優勝の日本エースサポートの新田沙也加参段は、体格を利した柔道で勝ち上がる。

優勝した丸順の石山麻弥参段は体格で劣る不利をものともせず、得意の大内刈で勝ち進む。準決勝戦での立山真衣参段（フォーリーフジャパン）戦を延長戦の末、旗3本で降して決勝戦に進む。

準決勝戦第1試合

2立山 真衣                   (優勢勝)                   ④2石山 麻弥  
(フォーリーフ ジャパン) (ゴールデンスコア)           (丸順)

準決勝戦第2試合

3新田 沙也加○           合せ技                   3村瀬 晴香  
(日本エースサポート)                                   (ヤックスケアサービス)

共に大型選手同士。村瀬より更に一回り大きい新田は、序盤、村瀬に果敢に攻められ技が出ず、指導2まで受ける。徐々に自分有利の組手を得始めた新田は、1分過ぎ、左払腰でタイミングを計った後、再度思い切って払腰を仕掛け、そのまま体を預けて技ありを奪い、1分25秒、直ちに袈裟固で抑え込む。

決勝戦

2石山 麻弥○           大内刈                   3新田 沙也加  
(丸順)   (日本エースサポート)

体格で圧倒する新田は、両襟を掴み左内股で勝機を窺う。対する石山は右組みで引手をしっかり握り、体重差30kg以上の新田に、再三、大内刈で右足を飛ばして牽制する。新田が石山を攻めあぐねるところ、1分12秒に石山は右足で鋭く大内刈に刈り込みなが

ら前に押し込めば、新田は背中から畳に沈む。